

2022年 1月 16日

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 洋子姉

賛 美 聖歌588番 ～主の導きの中を～

平和の祈り

聖書朗読 サムエル記上22章1～5節

特別賛美 新春お琴アンサンブル

メッセージ 「人生の荒野を乗り切るために」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌723番 ～勝利・感謝・主に栄光～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～見よわたしは新しいことをする～

☆礼拝にお越しくださった皆様に心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝します。コロナが蔓延しています。守られますように。

☆今週の祈り会：○早天祈祷会：明朝6時～。◎祈祷会：木曜午前10時半～
夜7時半～（大和の祈祷会映像に参加）○準備祈祷会：土曜夜8時～。

★今週木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。

☆来週の日曜礼拝も4回の礼拝を行います。〈司：石井兄／祈：村山姉〉。

◎今後の主な予定：卒業祝福式3／20（日）、信徒懇談会3／27（日）

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/16- /23]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	創世記 34-35	36-37	38-40	41	42-43	44-45	46-47	48-50
新約	マタイ 11	12:1-28	:29-50	13:1-30	:31-58	14	15:1-20	:21-39
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇

「人生の荒野を乗り切るために」

～荒野でしか得ることのできない恵み～

「主はこう言われる、『つるぎをのがれて生き残った民は、荒野で恵みを得た。イスラエルが安息を求めた時、主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。』」

エレミヤ31章2, 3節

2022年が始まりましたが、もうすでに新型コロナのオミクロン株が蔓延しています。驚異的なスピードです。連日の報道の数字を聞くとやはり不安にならざるを得ません。特に医療現場におられる方々は現実問題として常に向き合っておられます。祈りが必要です。

さて、人生は旅と言われますが、気ままなゆったりとした旅ばかりではなく、大きな試練と向き合わなければならない旅もあります。人生とはそんな戦いの連続であると思います。

ダビデ物語を再開しましたが、主君サウルに追われたダビデは、自国に中に居場所はなく、様々な場所をさまよいながら、逃げ回ります。自分の家族や親族もその被害に遭う恐れがあるので、ダビデと行動を共にします。突然一族で流浪の生活になってしまったのです。ダビデには何の負い目もありませんでしたが、絶対権力者が追いかけてまわすので、逃げざるを得ない状況になってしまいました。洞穴や森の中など次から次へとさまよい続けます。このサウル王に追われる時期はダビデにとっての「荒野」のような時でした。

イスラエルの民も40年間荒野をさまよう経験をしました。その40年間で彼らは神様ご自身にのみ信頼するという学びを通過させられました。

私たちも現在、新型コロナウイルスを通して、「荒野」を経験していると言えます。その「荒野」の中で、私たちは信仰の原点に立つことを学んでいると思います。雑誌「舟の右側」の中で、ある牧師が「新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界中で教会の本質が否応なしに問われたと言えるだろう。例えば、スモールグループも、特別集会も、礼拝も、説教も、ほぼすべての活動が今まで通りにできなくなった教会も多い。それでは、教会が教会ではなくなってしまったのか？教会とは一体、何か？今までできたことが、できなくなった世界によって、教会の意義に関わる問いが突き付けられたと感じられる。教会の目的という原点に改めて立ち返るとき、いかに状況が悪くても、健全な教会形成へとむしろ成長するチャンスを見出すことができるだろう」と語っていました。「教会の目的という原点」とは何か？それは、神様のみことばであり、神様ご自身です。飢え渴いて神様を求めて行くことが最も大切なことです。

神様の恵みは目に見えないものです。だから、あやふやになりやすいのですが、それを明確に手でしっかりと握っていくように捕えていく必要があります。荒野で得る恵みをしっかりと自分自身の信仰でつかんでいきたいと願います。